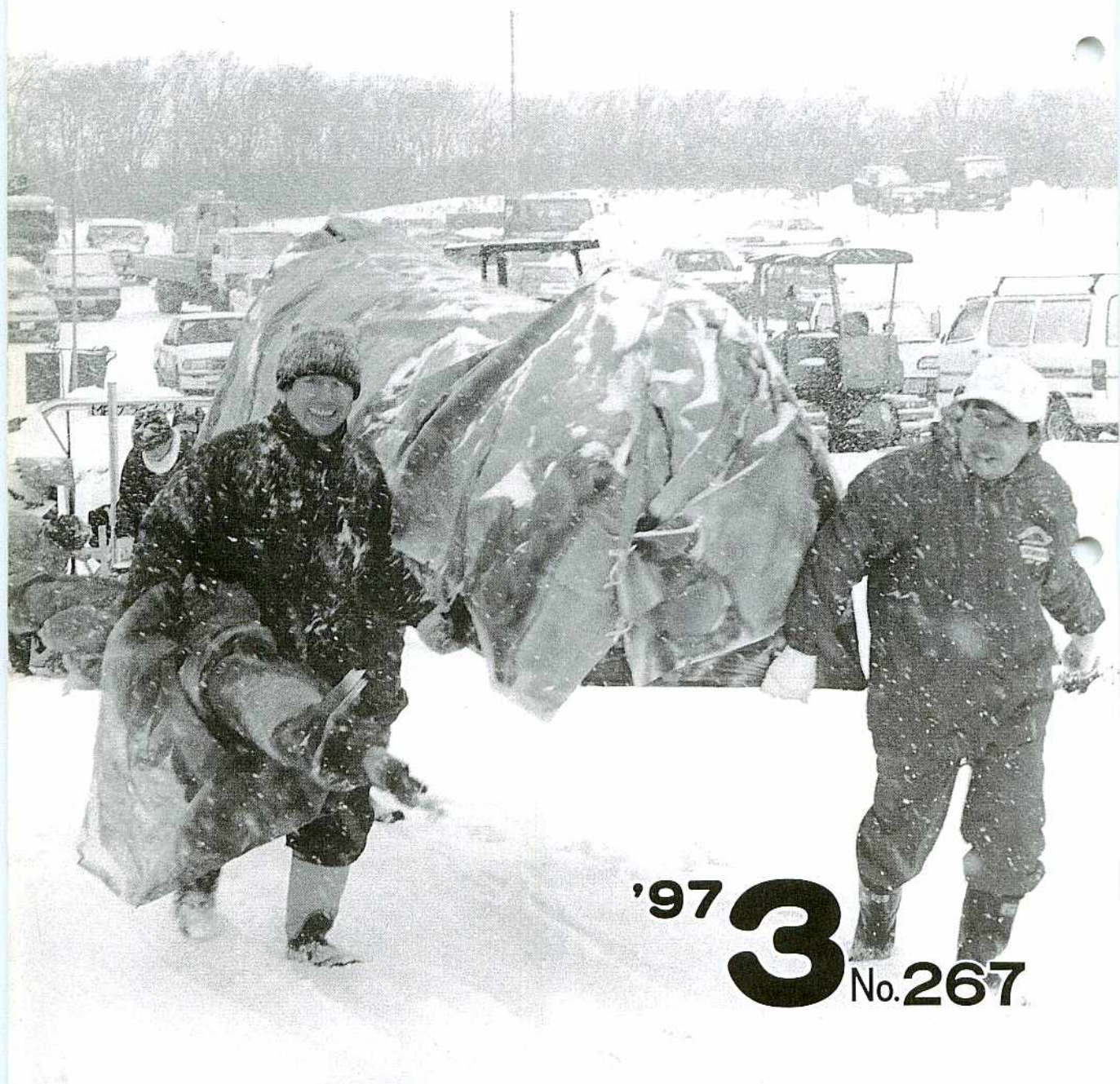


のうきよう まがしづ



'97 **3** No.267

のうきよう なかしべつ

何となくウキウキ気分ひな祭り、
桃の花を飾って白酒飲んで…
優雅に過ごしてみたい桃の節句。



もくじ

- 3 ——— 開陽台自作ソリ大会
- 4~5 — 第22回 なかしべつ冬まつり
- 6 ——— 〈わが家の人気者〉
掃除機かけるの得意だよ!!
北武佐 松田尚己くん(1歳8ヵ月)
- 7 ——— 中標津乳牛改良同志会総会
- 8 ——— 〈組合長日誌〉
健康であるがための健康管理
- 9 ——— 地区別懇談会
- 10~11 — 〈営農技術〉
根気良くギシギシ退治を
- 12 ——— 消費税法の改正
- 13 ——— 〈理事会の経過〉
第15、16回理事会
- 14~15 — 〈暮らしの知恵袋〉
「農村女性フェスティバル」で有意義な交流
- 16 ——— 女性部料理講習会
- 17 ——— 馬鈴しょ栽培技術講習会
てん菜栽培講習会
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ——— 2月の組合日誌

第9回開陽台自作ソリ大会が2月16日、開陽台育成牧場内特設会場で開催されました。

スピードと、 デザインを楽しむ



開陽台自作ソリ大会

当日は雪が降る悪天候の中での開催となりましたが、町内外から小中学生、一般と多くのユニークなソリの参加があり、スピードとデザインなど競い合いました。

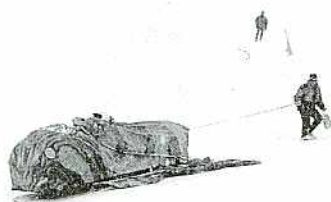
中にはバランスを崩し転倒する場面もありましたが、皆さんゴールを目指す姿に、沢山の観客から多くの声援が送られていました。

自作ソリ大会に参加された組合員さんより寄稿文が寄せられましたので、ご紹介します。

地元の行事に積極的に参加しようという理屈をつけて、酷対役員と有志により今年もソリ大会に参加する事になりました。しかし、一週間前になってもアイデアが浮かばず、ギリギリ四日前になり作業開始。結局大会前日の夕方になってよう

やく三台のソリが完成。ここで困った事が…それは乗り手がいなく、話しによると「俺達の作ったソリでも、自分では乗る気がない」と言うのです。乗り手が決まらないまま一月十六日の大会になってしまいました。そんな時に農協から助

つ人が現われました。ただ一言、「うれしい」。一台目、オートバイにソリをつけ順調に滑ってスピード部門三位。二台目はボート、しかしボートは水がなければダメみたいでリタイヤ。三台目、今回最も力を入れた蝶、まずは幼虫でスタート、途中で殻を破って羽根を広げて鮮やかな蝶に変身する完べきな姿でゴール。審査の結果はパフォーマンス大賞をいただきましたが、実際は大賞よりも賞金がうれしいものです。仲間が集まって一つの物を作り上げるのは実に楽しい事です。



第22回 なかしべつ 冬まつり



晴天の中、沢山の人出でにぎわった冬まつり

笑いと言援に包まれた イベント会場



人気者の牛のぬいぐるみ

第二十二回なかしべつ冬まつりが二月八、九日の二日間、町総合文化会館するべつと広場で開催されました。

当日は天候にもめぐまれ、大勢の人出でにぎわい大小の雪像、各イベントを楽しみました。

今年の冬まつりは二日間とも晴天で、八日の前夜祭は、午後一時から雪上ジャンボサッカー、スノーホッケー大会、スノーフェスティバルINよさこいが、それぞれ行なわれ、各会場とも大勢の笑いと言援に包まれ、なごやかな雰囲気の中、予定通り行なわれました。また、午後六時から開会式、雪像の引渡し式、もちまき大会などに続き、歌謡ショーや花火大会が行なわれ、透きとおった夜空を色鮮やかに飾り、夏とはまた違った冬の花火に見物客の目をくぎづいていました。

九日の本祭りでは、耐寒ラジオ体操、雪上パークゴルフ大会、ラジコン雪上バギー大会、小学生対抗雪合戦などが午前中開かれ、午後から、ムツゴロウ動物王国の協力で愛犬ばんばが会場の中央で初

わが家の人気男

掃除機かけるの得意だよ!!

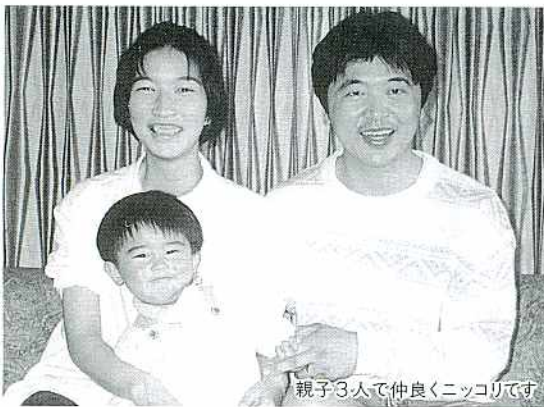


北武佐 松田 隆・むつ子さんご夫妻

長男 尚己なほくん(1歳8カ月)

少しずつ言葉も覚えはじめて、カワイイ盛りの松田隆さん宅の長男・尚己くん。
外で遊ぶ事が大好きで、ちよっぴり肌が雪やけで黒くなったかな?とおばあちゃんのヒロ子さんもニコリ。最近、外でのソリ遊び

が楽しくて仕方ない様子。「外へ行きたい」とさいそくされる事も…。もっぱら、外で遊ぶ時は、おじいちゃんの征二さんが連れていっ



親子3人で仲良くニコリです

てくれるそうで、取材の日も、外で元気いっぱい遊んでました。また音楽が大好きという尚己くん。家の中ではいつも童謡が流れしており、おじいちゃんがカラオケ用として使っていた機械も、今では尚己くん用としてフル回転しています。お気に入りの曲がかかる、と、踊ってくれたり、わざと音楽のボリュームを下げると、リモコンを上手に操作して元に戻す所なんかは、とてもカワイイのです。「赤ちゃんの頃から音楽を聞かせていたせいか、今ではこのとおり」とお

母さんのむつ子さんも笑います。尚己くんの得意ワザは、掃除機をかける事。これを聞いて子供用の小さな掃除機だと思っていたら大間違い!!普通の掃除機なのです。おじいちゃんがワザとちらかしたゴミを、上手に吸いとる様子にとっても感心。お手伝いもできるおりこうさんなのです。

「じいちゃん」「ばあちゃん」「おかあ」「お母さんの事」までは上手に呼べるようになった尚己くんですが、肝心要のお父さんの事は、「お」と呼ぶそう。

少しさみしいお父さんですが、カワイイ息子が、「お父さん」と呼んでくれる日は近そうですね。

「松田家の六代目として立派に…」とおじいちゃん。「不良になるな!!」と笑うお母さん。

未来の松田家を担う、スーパーヒーロー尚己くんへの想いはつきないようですが、家族みんな「健康で、やさしく元気な子に」という気持ちが一番のようです。

そんな、家族みんなの愛情を受けて、今日ものびのび、元気に飛び回っている事でしょう。

平成9年

中標津乳牛改良同志会定期



弾正原 正氏(会長)の挨拶

会員相互の信頼と自覚をもって



第26回 中標津乳牛改良 同志会総会



同志会表彰の様様

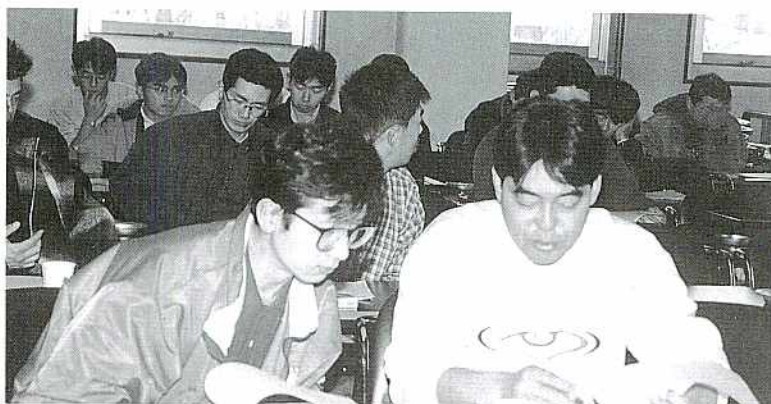
第二十六回中標津乳牛改良同志会総会が、二月四日農協大会議室を会場に、中標津支部、南中の岡部達也氏を議長に選出し開催されました。

総会前に八年度最後の事業として、会員の一カ年の改良の成果として同志会表彰が行なわれました。

今回は十五万羽達成した第二俣落・川村尊之氏のミス、ヨークカウンテス、コッキー号を特別表彰致しました。

議事では事業報告、事業計画に対しさまざまな意見が出され、活発に論議されました。

直接経営に関する消流事業に対



しては、乳検、体審などの推進、同志会の将来に対する意見など、会員相互の信頼及び自覚をもって各事業に参加し、また、各支部活動が活発になるようになどの意見が出されました。

一部同志会表彰規定を改定し、原案の通り可決されました。

健康であるがための健康管理

うらをみせておもてをみせて
散るもみじ 良寛

農協畜産販売課長の井手本李次郎さんが亡くなられました。改めてご冥福をお祈りいたします。

井手本さんは昭和十九年、愛媛県宇和島市にて生まれ、県立酪農技術指導所を卒業後、先輩をたよって米道し、中標津町共済組合に勤務後、人工授精部門の移管に伴い農協に参画され、人工授精師、そして販売課長として活躍されました。

温暖で、風光明媚な宇和島から、厳寒の地への旅立ち是他から見れば大変な事ですが、本人にとつては青春の勇氣と喜びに満ちた出発だったろうと推察されます。

北海道の一世の人々は皆、人生の夢を託して津軽の海を渡ってきました。エゾ地の厳寒も知らず、開拓の困難さも知らず、ただ、おのれを頼み、夢を追い、希望の地へとやって来たに違いありません。

せん。井手本課長も乳牛の改良に、また中標津町の和牛の生産基地建設の夢を持っていました。道、半ばにして倒れましたが、夢を抱いて晩年を過ごせたことは、せめても

●今月のたより……

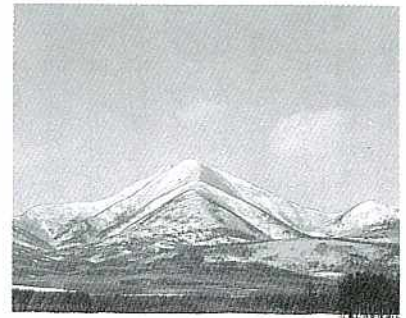
組合長日誌

代表理事組合長
三友 盛行



のなぐさめであります。

昨年は管理職員より入院者を数名出してしまい、組合員の皆さんに大変ご迷惑をおかけしてしまい、農協の健康管理のあり方が問われ



ました。人間ドックの受診率自体は決して低くはないのですが、忙しさに紛れて、管理職の受診がなおざりにされておりました。またせっかくの検診が要再診につながっていなかったことも反省点でありました。今後は一層の健康管理に努めてまいります。

一方、組合員には毎年助成をしながら人間ドックの受診を奨励しておりますが、日常の忙しさの中で受診する人と、しない人が顕在化しておりますので、ぜひ一年に一度は機会をとらえて受診して下さい。私も決して受診の優等生ではありませんが、組合長自ら範を示すべく先月の末ドックを受診しました。結果はほぼ良でしたが、

飲み過ぎ、食べ過ぎ、運動不足に注意する様に指摘されました。改めて日常生活の大切さを認識しています。

一方農業という視点で健康を考えてみました。近年牛の産次数が短くなる傾向にあります。特に高泌乳牛群にあり、その原因は、生産量の増大による生産病の多発であり、いいかえれば働き過ぎです。他に草も肥料の多投入によって糖分が低く、苦い草もあります。これも草の健康と密接な関係にあります。微生物、昆虫類が健全に生活出来る健康な土の世界も大切です。農業は生産を支える、様々な世界によって支えられています。そして各々の世界が健康であつて、はじめて農業も健全に成立します。健全な農業によって、健康家族があり、地域があり、国があつて地球があります。それぞれの小世界の健全、健康を願い、実現してゆきたいものです。

Aコープ移転、新築、 北部四農協合併問題などに 意見、要望が出される。

平成9年度の事業計画作成にあたり、組合員の皆様の意見をいただくため、2月24日から26日まで地区別懇談会を開催しました。

農業所得税申告の準備と重なり、出席者は少なめでしたが、平成8年度農協事業概況や組勘の状況、また懸案であったAコープの土地集積に係る議題、合併の検討などについて説明し、皆様の意見をいただきました。

十二月末における農協の事業概況について、購買事業では配合飼料の価格引上げと量の増大により、供給高の増加が顕著となり、生活店舗はほぼ前年並となっています。販売高については、生乳が約二割伸びたものの、馬鈴しょ、てん菜が冷害の影響で一七割の減収となつたことから、全体では前年を若干下回っています。貸付金につい

ては、組勘貸越残の増加と農家負担軽減支援特別資金の貸付により増加しており、貯金については伸率が鈍化しています。

組勘の状況については、乳代の増加はあったものの、粗飼料の質低下や価格の引上げによる飼料費の増大、また冷害による畑作物の減収により貸越残高が増加し、近年に悪化しました。管内でも飼料費の伸びが乳代の伸びを上回っており、粗飼料の量的、質的確保のあり方が問われました。Aコープの土地集積と今後の展開については、駐車場を含めた現状の課題から、移転新築を前提に土地集積を進める必要がある事を

説明しましたが、集積や店舗運営について更に資料、条件整備をし、改めて懇談会にて組合員の皆様に示すこととしました。

合併の検討について、北部四農協の共通の足並みとしての検討機関「合併に関する検討会」設置と、検討事項の確認、今後のスケジュールについて説明。また別海町の状況についても説明しました。

また緊急屠畜に係る根室ミートセンターの状況や乳質乳価算定方法の変更についても説明し、それぞれについて意見をいただきました。各地区の主な意見として、Aコープについては、これまでの実績に対する評価をいただく一方で、

移転新築について前向きに実施すべきという積極論や、運営方法や厳しい業界に対しての慎重論も出されました。また合併の検討については、合併の必要性や組合員にとってのメリット・デメリットの明示などの意見が出されています。今回の懇談会は、例年と違い各地区、半日ずつという短い時間でしたが、皆様の意見・要望について、理事会で慎重に協議し、平成九年度事業に反映させてまいります。

ご多忙の中お集まりいただき、また貴重なご意見、ご提案ありがとうございました。

北根室地区農業改良普及センター

根気良く ギシギシ退治を

ギシギシは、種子量が多く、また種子の寿命が極めて長いなど、増殖能力が旺盛で、草地の植生維持に大きな障害になっています。

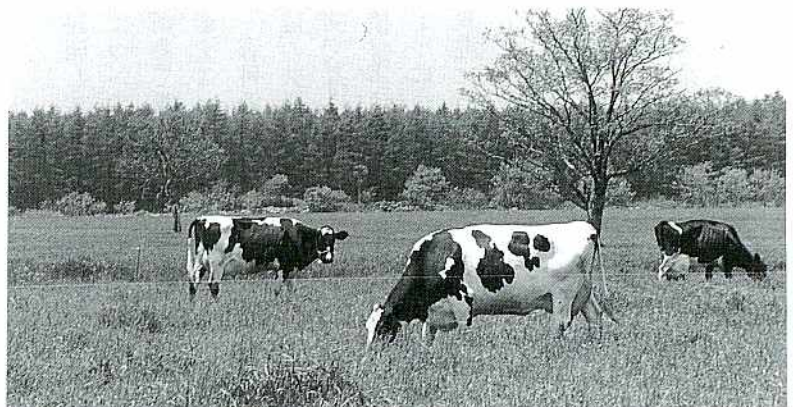
- ギシギシ退治には
- ① 掃除刈りや早刈り
 - ② きゅう肥の堆肥化
 - ③ 抜き取り
 - ④ 除草剤散布

などの方法があります。

ここでは、除草剤散布による除草について次の二つの例を紹介いたします。

表一は、平成七年に農試から紹介された方法で、その後現地でも、タッチダウンを用いて同様の効果が確認されています。

表二は、イネ科単播草地のギシ



ギシの除草を除草剤（ハーモニー）散布で行なうものです。現地事例では、一番草収穫後に使い、牧草の追播を併用することにより、草地利用年限の延長を図ることも可能になります（この除草剤散布後は防除機を十分に洗浄する必要があります）。

税 知っておきたい 税の知識

所得税の確定申告は
正しく期限内に

平成八年分の所得税の確定申告の申告・納付期限は三月十七日(月)です。お忘れなく。また、申告書は自分で書いてできるだけお早めに郵送で提出してください。

正しい確定申告を

所得税は自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、税法に従って自ら自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行なってください。

確定申告をしなければならぬのに期限内までに申告をしなかったり、誤った申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めなければならないのはもちろん、不足税額の一五割、または一〇割（不正な行為があったような場合には四〇割または三五割）の割合の加算税が課され、更に、延滞税も納めなければならないこととなります。

表1 草地更新時の播種床に対する播種前雑草処理

<p>〈作業手順〉</p> <p>耕起・整地</p> <p>↓放地……主要雑草を生え揃わせる。</p> <p>除草剤散布……薬量 ラウンドアップ、またはタッチダウン250～500ml/10a水25～50ℓ</p> <p>(地下茎型イネ科雑草やギシギシ類の多いほ場では前植生処理を併用すると効果的で)</p> <p>播種・鎮圧……す。</p> <p>↓ ……除草剤散布当日～10日後までをめぐりに播種を行なう。</p> <p>新播草地誕生</p> <hr/> <p>注①主要雑草が出揃うのを待って処理する。</p> <p>②砕土整地は丁寧に行ない、除草剤散布後は鎮圧以外の表土攪拌を避ける。</p> <p>③専用ノズルを使用する。</p>
--

表2 チモシー主体草地におけるギシギシ類の除草と牧草追播による植生回復事例

<p>〈作業手順(平成8年、計根別地区事例より)〉</p> <p>1 番草収穫………(6月27日)</p> <p>↓ ……ギシギシ類を十分繁茂させてから除草剤散布</p> <p>除草剤散布………(8月1日) ハーモニー水和剤3g/10a水100ℓ</p> <p>↓</p> <p>2 番草収穫………(9月4日)</p> <p>↓</p> <p>施肥・牧草追播・鎮圧(9月6日)・事例ではチモシー(ノサップ)と白クローバ(ソーニャ)</p> <p>↓</p> <p>牧草地の植生回復</p> <hr/> <p>○本事例の特徴</p> <p>①本事例のハーモニー水和剤は、マメ科牧草への薬害が著しいため、イネ科単播草地に限られているが、夏処理できるため、除草剤散布後、牧草(イネ科・マメ科)を追播し、草地の植生を回復させることが可能であった。</p> <p>②2番草も収穫できるので、処理当年の牧草収穫量への影響が少ない。</p> <hr/> <p>注①ハーモニー散布後、牧草収穫・放牧まで21日以上あける。</p> <p>②上記の事例では、悪天候で作業が遅れたが、牧草を追播する場合は除草剤散布時期をもう少し早め、8月中旬頃までに播種するのが望ましい。</p> <p>③地下茎型イネ科雑草が比較的少ない草地での使用が望ましい。</p> <p>④散布液が他の作物にかからないよう注意する。</p> <p>⑤除草剤(ハーモニー水和剤)散布後は、使用した防除機などを十分洗浄し(使用后すぐ専用の洗剤で洗うなど)後で薬害の原因にならないよう注意する。</p> <p>⑥使い方については、普及センター・農協にご相談下さい。</p>

3カ月予報

北海道地方長期予報



財団法人気象協会北海道本部

気象概況 この期間、天気は周期的に変わっていきましょう。三月は冬型の気圧配置の日が平年より少なく、気温の高い日が多いでしょう。この期間の平均気温は高く、降水量は平年並の見込みです。

三月 天気は数日周期で変わっていきましょう。日本海側やオホーツク海側では平年より晴れの日が多い見込みです。

四月 天気は数日周期で変わりますが、気圧の谷の影響をうけやすいでしょう。平年より曇りや雨の日が多いでしょう。

五月 移動性高気圧と気圧の谷が交互に通る、天気は周期的に変わっていきましょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

4月1日より 消費税が5%



消費税法の改正

活力ある福祉社会の実現を目指した様々な視点から、所得税及び消費税などの税制の見直しが行なわれていますが、そのうち消費税については、①税率を新たに創設される地方消費税と合わせて五割とする、②中小事業者に対する特例措置を見直す、などの改正が行

なわれ、平成九年四月一日から適用されます。

そこで、主な改正点について説明しましょう。

消費税の税率が変わります

平成九年四月一日以後に行なわれる取引に対する消費税の税率が、五割（現行三割）になります。（五割のうち、一割は、地方消費税で

一、地方消費税とは

地方分権の推進、地域福祉の実などのため、地方税源の充実を図ることとし、消費譲与税に代えて、「地方消費税（道税）」が新たに創設されます。

地方消費税の申告と納税については、消費税の確定申告書を提出する義務がある事業者が、消費税の申告期限までに消費税の申告書と併せて税務署長に提出し、申告した消費税額と地方消費税額を併せて納付します。

したがって、事業者は、消費税と同一の申告書・納付書により消費税と併せて、同時に地方消費税を申告・納付することとなります。

二、経過措置

今回の改正に当たっては、税率の適用に関して次に掲げる経過措置が設けられています。

(一)平成九年四月一日前に領収して

いる旅客運賃、映画・演劇などの入場料金などで、その乗車、または入場などが平成九年四月一日以後に行なわれるものについては、現行税率（三割）が適用されます。

(二)平成九年四月一日前から継続して供給、または提供される電気、ガス水道水及び電話などの料金

で、平成九年四月一日から平成九年四月三十日までの間に確定する料金については、現行税率（三割）が適用されます。

(三)平成九年四月一日以後に完成、引渡しが行なわれる工事など、（製造を含みます）であつても、平成八年九月三十日までに請負契約などが締結されているものについては、現行税率（三割）が適用されます。

(四)平成八年九月三十日までに締結した資産の貸付契約に基づいて、平成九年四月一日前から引き続きその契約に係る資産の貸付けを行なっている場合で、その内容が一定の要件に該当するものについては、現行税率（三割）が適用されます。

(五)その他、役務の提供に関する経過措置、予約販売に係る書籍などに關する経過措置など、所要の経過措置が設けられています。

理事會

の経過

第十五回理事会

開催日時 平成九年二月三日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈審議事項〉

- 一、特定組合員に係る特別運用基準の設定について
 - 二、平成九年度営農計画供給認定について
 - 三、各種制度資金の借入れについて
 - 四、Aコープ店舗の土地集積について
 - 五、汚染原料乳の損害賠償責任保険の保険料について
 - 六、哺育・育成施設の取と預託契約について
 - 七、農産販売課、畜産販売課車両のリース契約について
- #### 〈協議事項〉
- 一、役員報酬審議会委員の改選について

- 二、地区別懇談会の日程について

〈報告事項〉

- 一、平成八年度十二月末財務状況について
- 二、平成八年度十二月末購買事業の進捗状況について
- 三、平成八年度十二月末金融事業の進捗状況について
- 四、乳製品工場の操業経過について
- 五、生乳生産状況について
- 六、畜産販売、肉牛センターの状況について
- 七、合併に関する検討機関の設置について
- 八、職員の採用について
- 九、自治監査の日程について

第十六回理事会

開催日時 平成九年二月十九日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈審議事項〉

- 一、平成八年十二月末定例自治監査の指摘事項について
- 二、職員死亡に伴う退職と特別加

給金の支給について

- 三、平成八年度一月末損益修正計画について

- 四、平成九年度営農計画供給認定について

- 五、組合員資格の変更について

- 六、共済規程の変更について

〈報告事項〉

- 一、農地の輪旋経過について
- 二、共済の仕組み改定について
- 三、農協五十周年について



第3次システム

説明会

二月二十八日、農協大会議室にて各単組の農協職員が集まり、北海道系統農協電算システム（総合情報システム）を抜本的に改訂し、J Aの経営全般の企画、統制が可能なシステムの構築を目指すための説明会が開催され、事務処理の流れ、消費税の課税区分、伝票の起票方法などについて行なわれました。



暮らしの

知恵袋



「農村女性フェスティバル」で有意義な交流

北根室地区農業改良普及センター

去る一月二十八日～二十九日、札幌において農村女性フェスティバルが開催され、全道から約六百人の女性が集まりました。年々参加人数が増えているこのフェスティバルは、全道の農村女性代表者によって運営されています。このフェスティバルの参加のために積立をしている女性グループもあり、今年も盛大に行なわれました。

今回はこのフェスティバルについて紹介します。

フェスティバル一日目、毎年行なわれている作文コンクールの表彰式がありました。

今年の作文の特徴としては、海

外経験や農外からの視点で自分の農業感を客観的にみた作品、消費者との交流や環境整備に關した作品が目立ったそうです。また、地域間での情報交換が熱心な地区からよい作品が出ているそうです。

最優秀賞を受賞した十勝管内本別町の作品には、農業への思いや絵手紙での農外の方との交流の様子が生き生きと描かれていました。自分の農業への思いを文にし、新めて自分の生活、人生を見直すのも良いものだと思います。

また、シンポジウムでは「農業・農村の多面的な可能性」というテーマをもとに、パネリストのそれ

表1

第一分科会	「快適な農業環境を考える～らくらく働き、安心農作業」 ○改良型ホウレン草の袋詰め器 ○酷暑のイチゴ収穫をクールに ○手作り管理作業機	大野町 笠原八重子 小樽市 小俣 良弘 芦別市 佐野 昌治
第2分科会	「ゆとりある就業条件を考える～一人一人が輝き、いきいできる暮らし～」 ○ゆとりある農家生活をめざして ～新たにスタートした簿記活動～ ○支え合うパートナーとして ～複式簿記記帳に取り組んで～ ○実感できるゆとりをゆぎして	歌登町 山崎世志子 帯広市 福田 和子 浜中町 日向よしみ
第3分科会	「動きだした女性の起業活動～農村から贈る美味しい農産物～」 ○いちご観光農園のとりくみ ○起業化までもう一歩・楽しくなければ輝けない ○起業化をめざした学習活動 ○産直活動を通じた生産者との交流	千歳市 信田みさえ 小平町 加藤 和子 洞爺村 星 一枝 札幌市 尾田 房子
第4分科会	「快適な農村環境を考える～ゆうゆう住まい、わが町は美しく～」 ○ゆとりを求めて ○アジュガで広がる地域の和 ○我が家の環境整備は一本の看板から	雨竜町 加津 和子 愛別町 矢部真美江 東藻琴村 矢浪千恵子

それぞれの視点から農業・農村について語られました。

帯広市の外山農場では、営農の傍ら都会の子どもの達のファームステイの受け入れや産地直送などにより、消費者と生産者の顔が見える関係づくりに努力しています。消費者に情報を発信することを大切にし、消費者からの様々な反応から多くのことを学んでいるそうです。

また、旭川市の有限会社「谷口農場」でも、消費者との交流を大切

にすることで、農村の素晴らしさを再発見し、また、ちょっとした消費者の言葉がヒントになり、経営に結びつくことも多いとのこと

です。今後、若い世代に農村のよい文化を伝えていきたいと話されています。

農業は食という大切な部分を担っているとともに、豊かな自然や文化が備わっており、豊業をどのように若い世代に伝えていくか、

また、消費者との交流や地域での交流の中で情報を発信したり、受

け取ったりすることが大切な要素となっていて、話しから感じられました。

二日目は四分科会で活動事例発表が行なわれました(表一)。現在全道には五百五十五の女性のグループがあり、経営の学習、加工販売、環境整備などの分野で活動しています。今回はその中の優良事例が発表され、それぞれの分科会で熱心な討議がされました。この交流をもとに、さらに全道で活発な活動がされることと思います。

また、一日目の夕には「翔たく農村女性夕べの集い」が行なわれ、夕食を囲みながら楽しいひとときを持ち、情報交換が行なわれました。視野を広め、自分の生活を見直していくため、また、農業に対する考え方を確認するためにも、このような場に参加していくことは有意義なことだと思います。

来年もぜひ参加してみませんか

冬期研修盛大に開催

中標津町農協
熟年会

中標津町農協熟年会(会員二百七十人)は、今年の冬期研修会を二月四日から六日までの三日間、阿寒ホテル御前水にて開催いたしました。

出発当日は、前夜からの吹雪のため交通が心配されましたが、何とか無事に百四十七人の参加者は阿寒に到着しました。

予定されていた保健婦さんによる健康管理研修会は、吹雪のため保健婦さんは弟子屈町ま

で来たのですが乗用車では阿寒横断道路越えは無理と判断、残念ながら引き返したため、研修会は中止となりました。しかしホテル側で用意してくれたカラオケ、歌謡ショー、踊りなどで盛り上がり、また、ゲートボール大会なども行ないました。

夕食時には元役員に感謝状が贈呈され、誕生日を迎えられた会員には花束、ゲートボール優勝者にはメタルの授与などが行なわれ、



まきまの内の福は興余
？そうになりせ私く

その後、みなさんによるカラオケ、日本舞踊が披露され、友人はだしのうまさに驚きの連続でした。

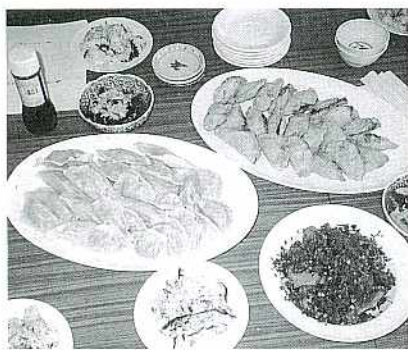
来年も健康に留意して元気に多くの会員が参加してくれますことを楽しみにしています。



J A 中標津熟年会の役員挨拶

手づくり ギョウザに チャレンジ

女性部料理講習会



上手に出来あがって大満足

二月十四日、雪印中標津工場二階調理室で、女性部料理講習会を開催いたしました。

今回は、横田純子部長が自ら講師となり、手軽にできる家庭料理四品を教えていただきました。



横田部長の指導で和気あいあい

「ギョウザ」、「とり肉のニンニクソースかけ」などを調理、参加者二十三人は、和気あいあいと横田部長にコツを教わり、手際良くメニューを完成させていました。

調理後は、全員で試食会。ギョウザの皮も「やっぱり手づくりだとおいしい」と好評。部員同士で教え合う楽しさも感じながら、終了いたしました。

ニューフェイス

エーコープ
お茶漬け (2種)
「のり」と「さけ」
の2タイプ



「エーコープお茶漬け」は、あたたかいごはんにかけて熱湯を注ぐだけで出来あがり。軽なお食事や、お夜食に最適な即席食品の定番です。

のり茶漬けは、焼のりの風味とパリッとしたあられの食感が楽しめる飽きのこない味付けです。

さけ茶漬けは、新鮮なさけをフリーズドライ製法で風味豊かに仕上げました。いずれも安定した品質とお求めやすい価格を追求したおすすめの商品です。

おくやみ

二月十一日、畜産販売課長・井出本李次郎様が入院加療のところ、五十三歳をもって命終いたしました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

組合員さんより井出本様を偲んで寄稿が寄せられましたのでご紹介いたします。

ふるさとの宇和島を語りしその折の表情なるよ遺影の君は
入院後二月経ぬ間に君逝けり忽然と姿消したる如く
夢を語るごとく話せり在りし日の君退職後はかく暮らさむと

(合掌)

渡辺 民江

総勢60人の参加者 熱心に聴きいる

馬鈴しょ栽培 技術講習会

ス澤崎技術顧問による「馬鈴しょ軟腐病及び黒あし病対策について」普及センター・鈴木調整主査は「ジャガイモシスト線虫と抵抗性品種について」、ホクレン・浅間主任技師からは「馬鈴しょ加工用品種栽培技術についてそれぞれ講義が行なわれ、参加した皆さんも真剣に聴きいってメモする人の姿も目立っているなど、大変有意義な時間を過ごしたようです。

二月十四日、馬鈴しょ振興対策協議会主催並びに中標津町、根釧地区馬鈴しょ生産改善協議会協賛による馬鈴しょ栽培技術講習会が開催されました。



浅間主任技師の講義

振興会員、農業関係機関、弟子屈町からも参加があり、総勢六十人により開催されました。講習内容については、㈱アグロ



熱心に聴きいるみなさん

土壌診断を 積極的に

てん菜栽培講習会

二月十八日、てん菜生産振興会主催による栽培講習会が、ウイングインなかしべつ大広間で開催されました。

土壌診断を利用される方が少ないので、適正な施肥管理の参考に畑の状態を知ることが大切であり、今後、積極的に土壌診断の方法を図るよう、指導がありました。

大雪のため、予定より一日遅れたの講習会となりましたが、関係機関を含め三十八人が参加し、「てん菜生産技術の向上について」ホクレン根釧原料所・大榎隆行氏が講義を行ない、昨年の天候不順の影響についてふれ、天候が不順でも大きく減収しない育苗管理、圃場管理について講義が行なわれました。

また、普及センターより最近、



育苗管理・圃場管理の講義を真剣に聴くみなさん



たのしくお話しをしながら、作品づくりをしました

ステキな押し絵ができました 女性部青葉会 和紙工芸教室

2月26日(水)に、青葉会和紙工芸教室を開催いたしました。青葉会員8人、中堅部員8人が参加した今回の教室では、和紙の押し絵に挑戦いたしました。春も近いという事で「梅むすめ」という押し絵を作成。約2時間、細い作業で四苦八苦しただ参加者も、形ができてくると楽しそうに作っていました。今回使用した「さくらほりきり」の押し絵セットは、誰にでも手軽に作れますので、ぜひ興味のある方は、作ってみて下さい。



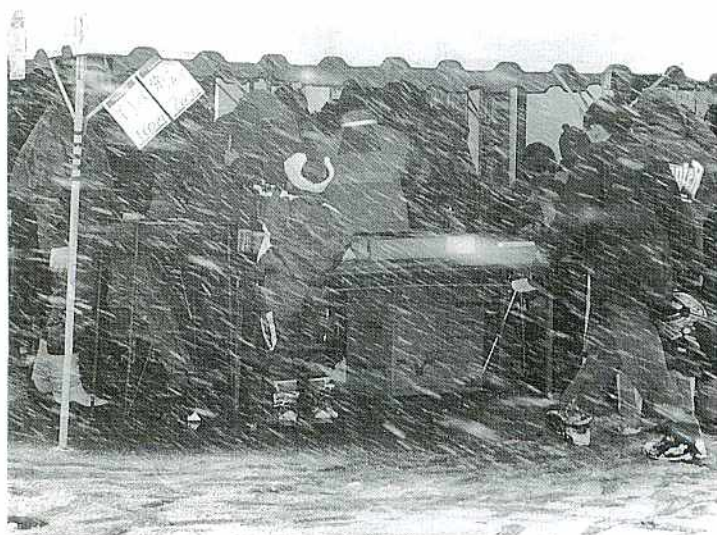
フ オ ト ア ル ズ

あったかメニューで寒さを吹き飛ばす

中標津地区冬まつり

第7回中標津地区の冬まつりが地域の青年が中心に企画し、2月16日、協和保育所で開催されました。

当日は、あいにく吹雪模様の悪天候で、今日のために準備・予定していたイベントなどは残念ながら行なわれませんでした。それでも地域の家族や友人などが荒天にもかかわらずたくさん集まり、前日から下ごしらえされた焼肉やおにぎり、ラーメン、熟燗など、体の中からホッカホカになる“あったかメニュー”が用意され、時間のたつのも忘れ話しに花が咲き地域の交流の場として楽しい一日を思い思いに過ごされました。



外は寒くても心はアツカ

これからの農協青年部を考える

農協青年部と農協理事者との懇談会



当歳、開陽(合同)支部での懇談会(農協和室)

農協青年部と農協理事者との懇談会が1月30日当歳、開陽(合同)支部を始めに、各支部で開催されました。

今年は「これからの農協青年部」をテーマに、現状の問題点(部員の減少、イベント活動の見直しなど)や将来への事業展開などが各支部で話し合われました。

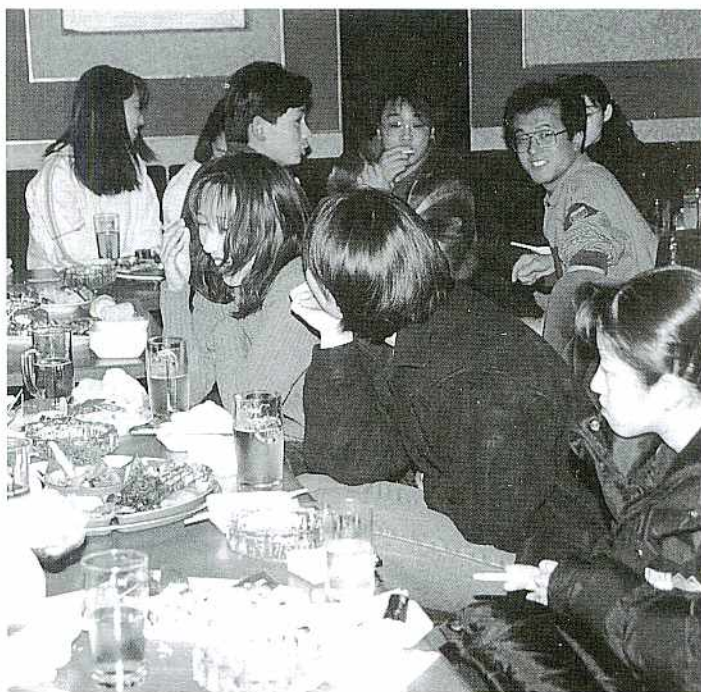
また、農協合併についても多様な角度から意見交換が行なわれました。

会話やゲームに盛り上がる 独身者おひなさま交流会

青年部独身者委員会企画による交流会が3月1日、スナック魔樹紫夢を会場に開催されました。

今回の企画は、例年行なっているスキーツアーが都合により開催できず、これに変わる企画を考えた結果、3月3日の節句も近いことから今回の交流会となりました。

当日は、青年部員13人、女性12人が参加。集合時間が過ぎても参加者の集まりが悪く心配しましたが、午後8時を過ぎる頃から集まりだし、ひと安心。全員が揃った頃には会話も弾み、ゲームも盛り上がり、夜遅くまで交流会が続きました。



時間がたつにつれて盛り上がる交流会

2月の 組合日誌

- 3日 第15回理事会
- 4日 中標津乳牛改良同志会総会
- 5日 管理部定例自治監査
- 6日 営農部、生産部自治監査
- 7日 購買部自治監査
- 8日 定例自治監査
- 10日 農協酪対役員会
- 14日 馬鈴しょ栽培講習会
" 課税対策委員会
- 17日 管理購買委員会
- 19日 第16回理事会
- 24日 地区別懇談会・中標津、
第2俣落、西竹
- 25日 地区別懇談会・当幌、俵橋
俣落
- 26日 地区別懇談会・武佐、開陽
- 28日 第3次システム説明会

編集後記

月日が経つのも早いもので、もう3月、組合員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の冬は吹雪も少なく過ごしやすいと思っていたら、2月の「ドカ雪」に見舞われ、除雪作業に時間を費やした事と思います。

道路も朝晩アイスバーン状態になっていますので、くれぐれも車の運転には注意して下さい。

今月号の表紙は、開陽地区で開催された自作ソリ大会を記載させて頂き有り難うございました。今後も各地域で趣向を凝らしたイベントなどありましたらご一報下されば幸いです。

新入会員募集中!

小学4年生から高校生までの諸君、
中標津ジュニアホルスタインクラブ
の会員になりませんか。

会員になりましたら、おもしろいことや興味深いことが、いっぱいあります。牛の共進会の見学はもちろんのこと、おいしいチーズやバターを実際に自分達で作ったり、親子でポーリング大会をやったり、夏休みには楽しいサマーキャンプで、いろいろなことを経験したり、体験などを通してたくさんの友達ができちゃったりします。他にもたくさんいいことや勉強になることがあります。詳しくは各地区クラブ運営委員までに申し込みお問い合わせください。

広瀬 清寿	3-7025	佐々木昭雄	3-3981
弾正原 正	3-7108	篠永 栄	4-2409
下山 幸一	2-9791	斉藤 一美	4-2119
奥田 建雄	2-9757		

中標津ジュニアホルスタインクラブ

運営委員長 佐々木昭雄、副委員長 広瀬清寿

